

# 被災地の高校生 1000 人が米国で震災・復興を発信 10/7 に米国へ出発 ～「キズナ強化プロジェクト」～

国際交流基金日米センターは、10月7日から仙台、八戸などの高校生、計1000名を米国へ15日間派遣します。先駆けとなる第1陣、第2陣の225名は、10月と11月にかけて全米各地でホームステイや学校での交流活動などに参加します。高校生たちが、自らの震災体験や出身地の復興状況について発信し、米国での裾野の広い理解を深めると同時に、復興の担い手育成もはかります。残りの約775名は、2013年1月と3月に計3～4グループに分けて派遣予定。



本事業は、東日本大震災復興支援として行われる青少年交流事業「キズナ強化プロジェクト」の一環です。今夏、米国から1000名の高校生を招きました。

## ■第1グループ（125名）

日程：2012年10月7日（日）～10月21日（日）

参加高校：（宮城）県立仙台東高等学校、（宮城）私立聖和学園高等学校、（青森）私立八戸聖ウルスラ学院高等学校、（茨城）私立聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校

交流先高校の都市（予定）：コロンバス（オハイオ州）、タルサ（オクラホマ州）、モスポイント（ミシシッピ州）、ニューオーリンズ（ルイジアナ州）、ハンティントン（ウェストバージニア州）

## ■第2グループ（100名）

日程：2012年11月1日（木）～11月15日（木）

参加高校：（茨城）県立日立第二高等学校、（茨城）私立東洋大学附属牛久高等学校

交流先高校の都市（予定）：ピッツバーグ（ペンシルベニア州）、リッチモンド（バージニア州）、マンシー及びラファイエット（インディアナ州）、シーダーラピッズ（アイオワ州）

※各訪問予定地へは、原則1グループ25名（引率教員を含む）に分かれて訪問します。

### 旅程

東京でオリエンテーション（2泊）→ワシントン D.C.: 交流活動、政府要所への表敬訪問など（4泊）→米国交流先高校の地方都市：高校交流、現地コミュニティへの訪問などを予定（ホームステイ3泊）→ニューヨーク市：交流活動、現地視察などを（3泊）→東京着

### 「キズナ強化プロジェクト」について

東日本大震災の被災地復興支援として行われる、日本とアジア・大洋州地域および北米地域との青少年交流事業です。約1年の間に対象地域の高校生・大学生など約1万人を日本に招き、被災地の青少年1,300名を北米に派遣します。日本再生に関する外国の理解を深めるとともに、原発事故などをめぐる風評被害に対して効果的な情報発信を行うことを目的に、日本政府（外務省）により進められています。



【問い合わせ】国際交流基金 日米センター（CGP）担当：吉田、川田

TEL: 03 - 5369 - 6072 FAX: 03 - 5369 - 6042 E-mail: kizuna@jpf.go.jp



国際交流基金設立40周年

国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1  
www.jpf.go.jp